

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1207	(H.25)No.	1207
-----------	------	-----------	------

事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	関森 弘康	

会計区分	事業コード	301517
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	環境保全型農業直接支援対策事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	環境保全型農業直接支援対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施策	2	自然環境
	小施策	1	自然環境の保全
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境保全効果の高い農業を実施し、農業が本来有する自然循環機能を維持推進することにより、環境意識の高い農業者を育て、食の安全を求める消費者のニーズに応え、また継続性の高い農業を推進できる。
事業内容
農業分野における地球温暖化防止、生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者や集落営農者に対し環境保全型農業を実施した面積に応じて交付金を交付し、支援を行う。
予定支援単価 8,000円(作付け面積10a当たり)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。 ○交付金 284千円(6件 0.7ha)	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	283千円	200千円	200千円	200千円	200千円
内 国・県支出金	142	100	100	100	100
内 地方債					
内 その他()					
内 一般財源	(0) 141	100	100	100	100
人工数					
職員	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 1,385千円	1,385千円	1,385千円	1,385千円	1,385千円
①+②総事業費	(0千円) 1,668千円	1,585千円	1,585千円	1,585千円	1,585千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
有機農業等を行う農業者等に対して6件の支援を行い、環境保全型農業の取り組みを推進した。 今後、この取組を継続すると共に、いかに地元産農産物の生産にあたり、有機農業等の手法を定着をしていくかが課題である。	有機農業等は労力を要することから、幅広く、また手厚い支援が必要である。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	有機農業等を支援することにより、自然環境の保全に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	地域住民団体等による環境保全型農業への取組拡大が図られる可能性がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第2次名張市農業マスタープラン
意欲ある農業者がより環境保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に、幅広く支援を行っていく必要がある。	